

令和5年度果樹農業における 担い手の育成及び活躍表彰 審査結果の報告及び 受賞者の紹介

令和6年3月1日

公益財団法人中央果実協会

表彰の概要・目的

- 令和5年度から開始
- 果樹生産現場において、担い手の育成・確保に取り組んでいる組織や、果樹経営において積極的に挑戦している生産者等を表彰
- 各産地でのより効果的な担い手育成・確保の取り組みへの波及や、果樹農業の魅力の発信が目的
- 表彰対象
 - 担い手を育成する組織(担い手の育成・確保の部)
 - 果樹生産者(活躍する担い手の部)
- 募集期間； 令和5年10月18日～12月17日

審査の経過

- 審査会（令和6年1月12日及び30日）
- 担い手育成・確保の部 6組織（農産局長賞1点、中央果実協会賞5点）選出
- 活躍する担い手の部 3生産者（農産局長賞1点、中央果実協会賞2点）選出
- 審査の全体講評；
 - ✓ 各賞に選出された組織又は個人の取組みはいずれも優秀
 - ✓ 農産局長賞は被表彰者の代表としての実績
 - ✓ 全国の担い手育成の取組みの促進と果樹農業の魅力の発信につながるもの

第1部 担い手の育成確保の部

① 審査結果の報告

● 審査講評

- 組織によるトレーニングファームの運営又は生産者園地を活用した研修のいずれかに類型
- 取組みの詳細をみると、園地の集約・整備や移住促進・災害復興の要素が含まれる
- 異なる類型の取組みを比較審査するという難しい審査
- 募集の段階から取組みの類型化の趣旨や考え方を示し、取組みの特長を明確に捉えて応募を一層促進

第1部 担い手の育成確保の部

② 受賞者の紹介

○ 農林水産省農産局長賞

JA紀の里 あら川の桃部会

○ 中央果実協会理事長賞

広島県果実農業協同組合連合会広島県果樹農業振興
対策センター

豊田市農ライフ創生センター

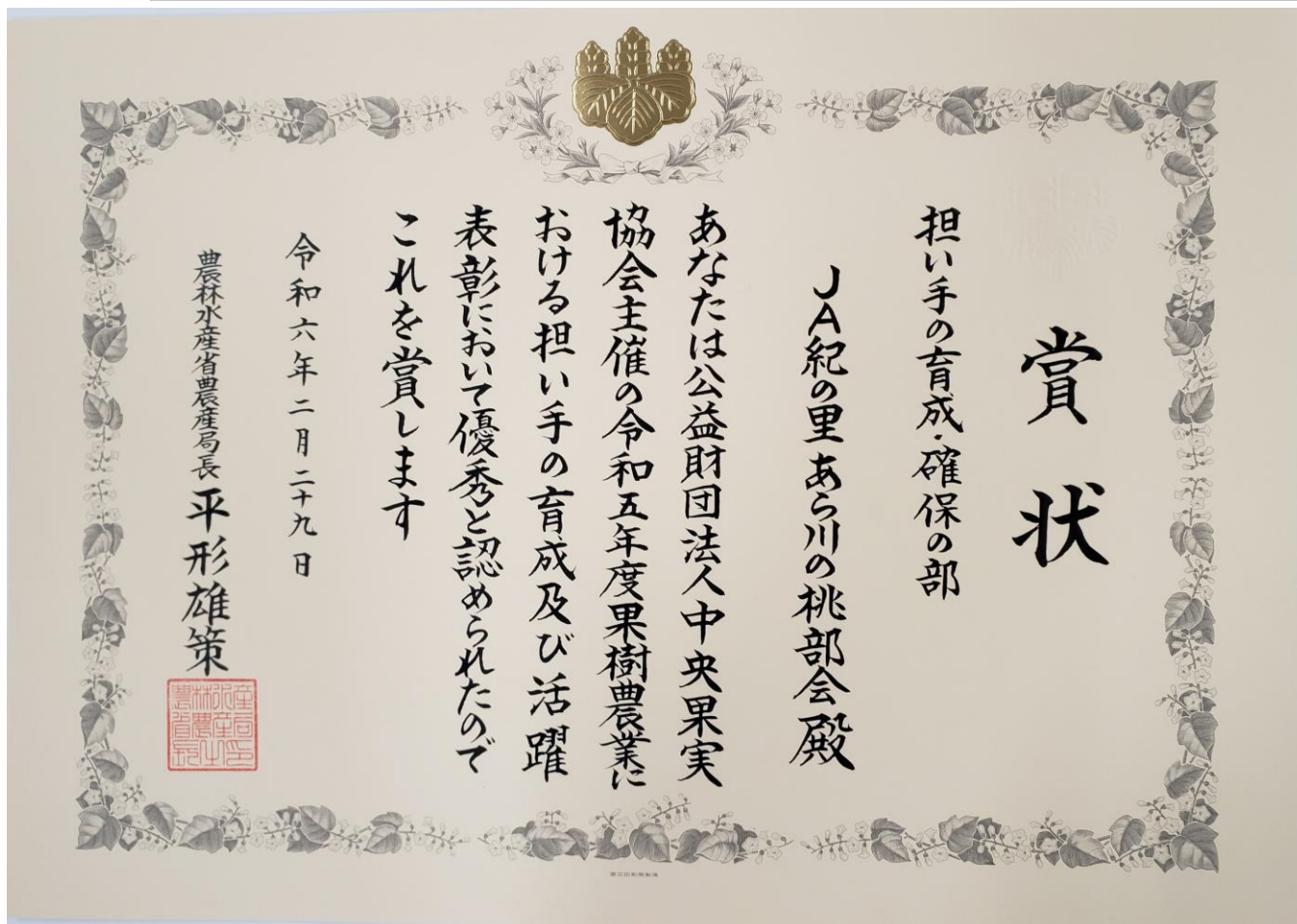
三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会

長野県松川町

香川県農業協同組合高松・坂出地区果樹青壮年部

第1部 担い手の育成確保の部

JA紀の里 あら川の桃部会



- JA紀の里は、桃、柿、柑橘類等果樹栽培が盛ん。
- 商標権やGIを取得したブランド「あら川の桃」の産地。
- 河川敷の園地は「桃源郷」とも呼ばれる。

第1部 担い手の育成確保の部

JA紀の里 あら川の桃部会

- ◆平成27年にJA紀の里あら川桃部会が中心となり、生産者から研修サポーターを選任し、トレーニングファームサポーター会を設置。
- ◆研修者1名に複数サポーターをあて、桃生産の経営・栽培技術等の研修と地域への溶け込み等を支援。
- ◆生産部会員に営農継続意向アンケートを行い、新規就農者受入れの意識醸成と継承可能な園地の把握。
- ◆台風による産地の甚大な被害を乗り越えて、生産部会として新規参入者の研修と園地継承を継続。

第1部 担い手の育成確保の部

JA紀の里 あら川の桃部会



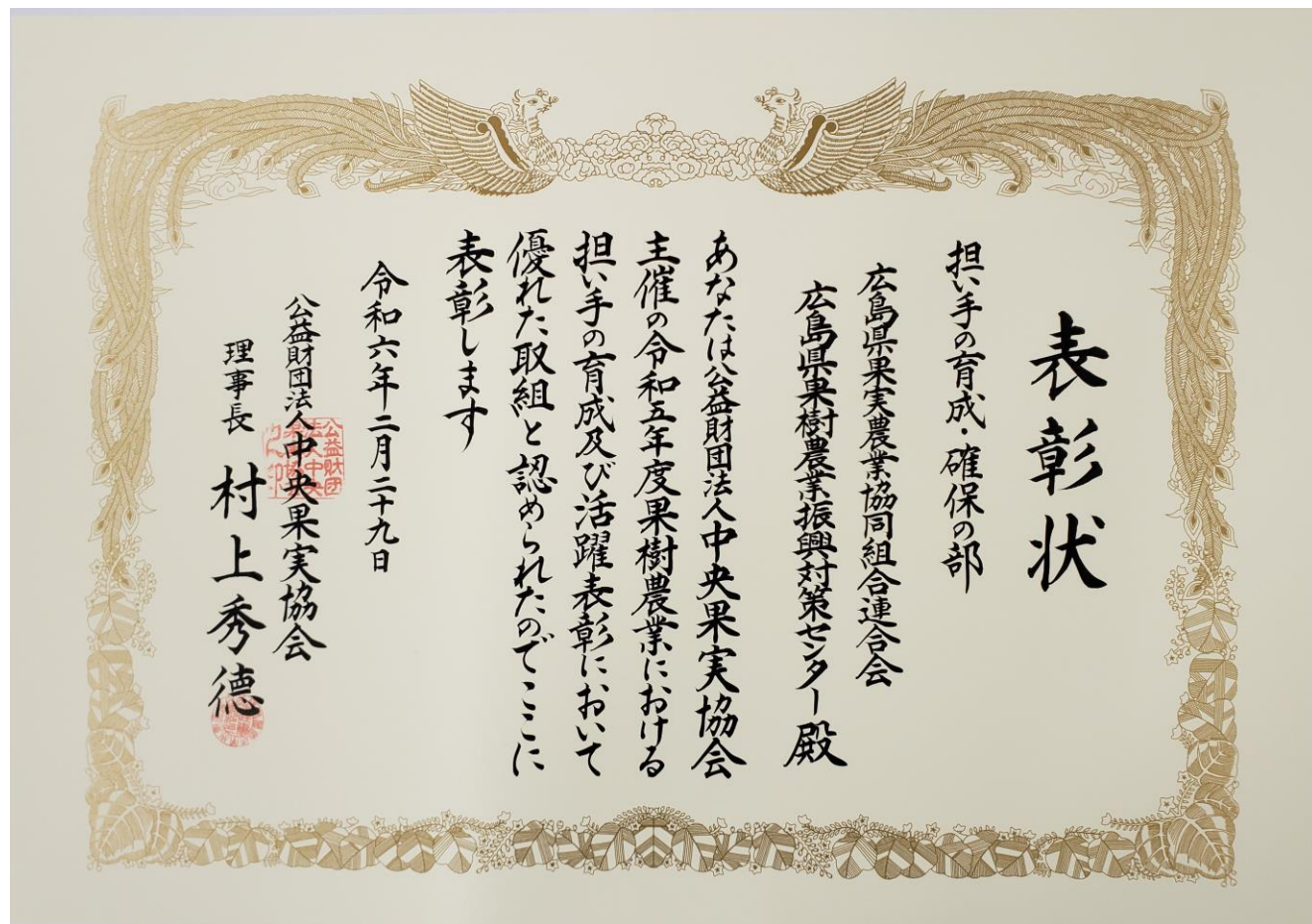
桃源郷の風景



研修サポーターによる指導の様子
(左:サポーター、右:研修生)

第1部 担い手の育成確保の部

広島県果実農業協同組合連合会 広島県果樹農業振興対策センター



- 広島果実連は、平成24年に果樹の担い手育成を目的とした広島県果樹農業振興対策センターを設置。
- 県内に複数の研修農園と瀬戸内での実地開発を実施

第1部 担い手の育成確保の部

広島県果実農業協同組合連合会 広島県果樹農業振興対策センター

- ◆平成24年に呉市のカンキツ研修園で新規就農研修を開始し、平成27年に福山市沼隈のブドウ団地にブドウ研修園で新規就農研修を開始。
- ◆研修園地の地域で就農。修了後の地元JAが園地を幹旋し、市町が制度資金等を確保。
- ◆離島の荒廃園地を借り受け、平成30年度からレモンを新植して園地を整備中。
- ◆JA主体でトレーニングファームでの研修や、園地継承、新たなレモン園の開設・拡張を行うモデル的取り組みを実施。

第1部 担い手の育成確保の部

広島県果実農業協同組合連合会 広島県果樹農業振興対策センター



同センターの果樹園の所在場所



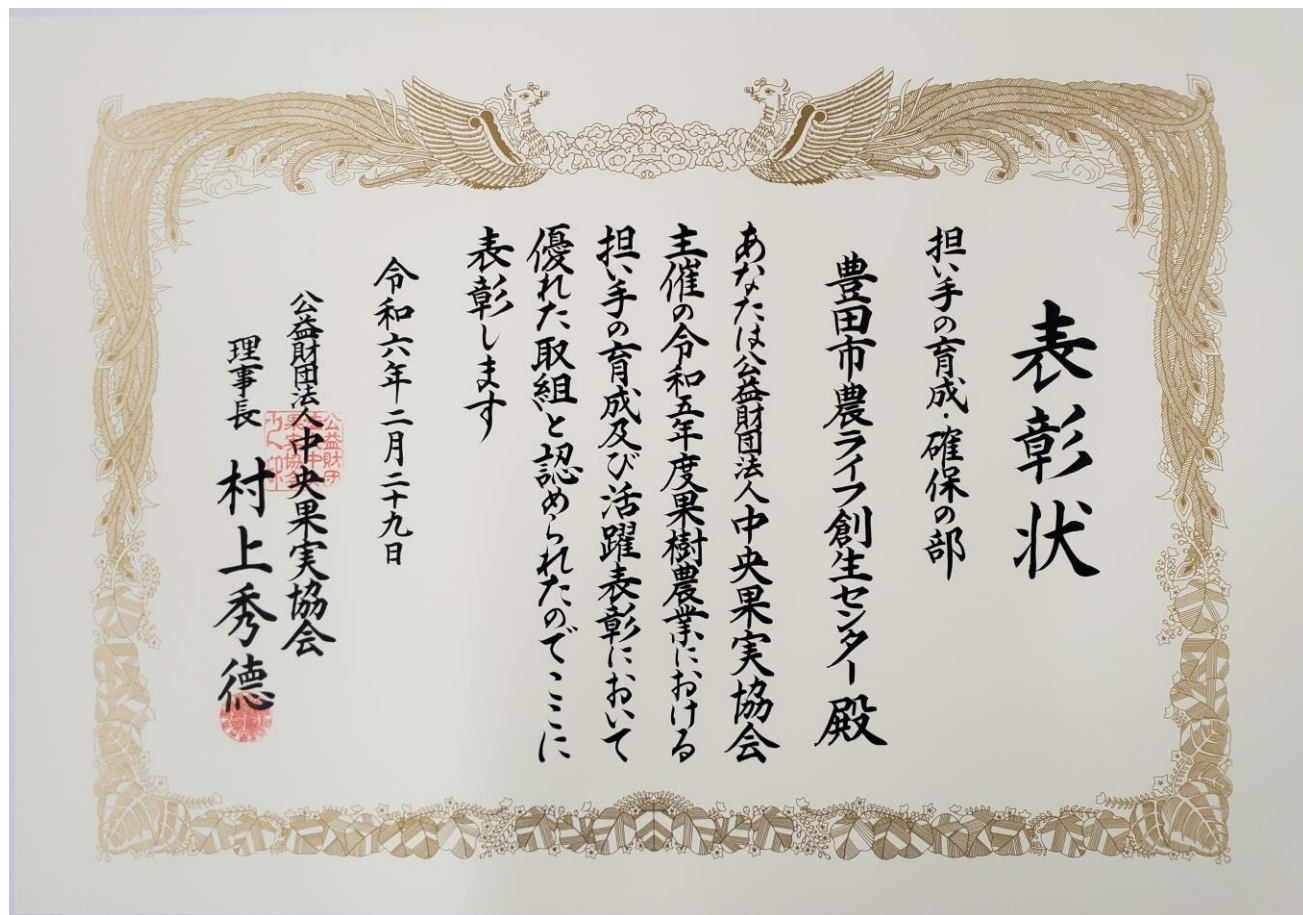
沼隈ブドウ園における
研修の状況



離島(佐木島)のレモン園(第1ほ場)

第1部 担い手の育成確保の部

豊田市農ライフ創生センター



◆ 豊田市とJAあいち豊田の共同運営施設

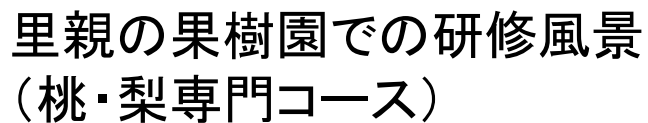
◆ 担い手育成による遊休農地の活用のほか、生きがい型農業や市民と農業の関係構築を目的に各種の研修を実施

第1部 担い手の育成確保の部

豊田市農ライフ創生センター

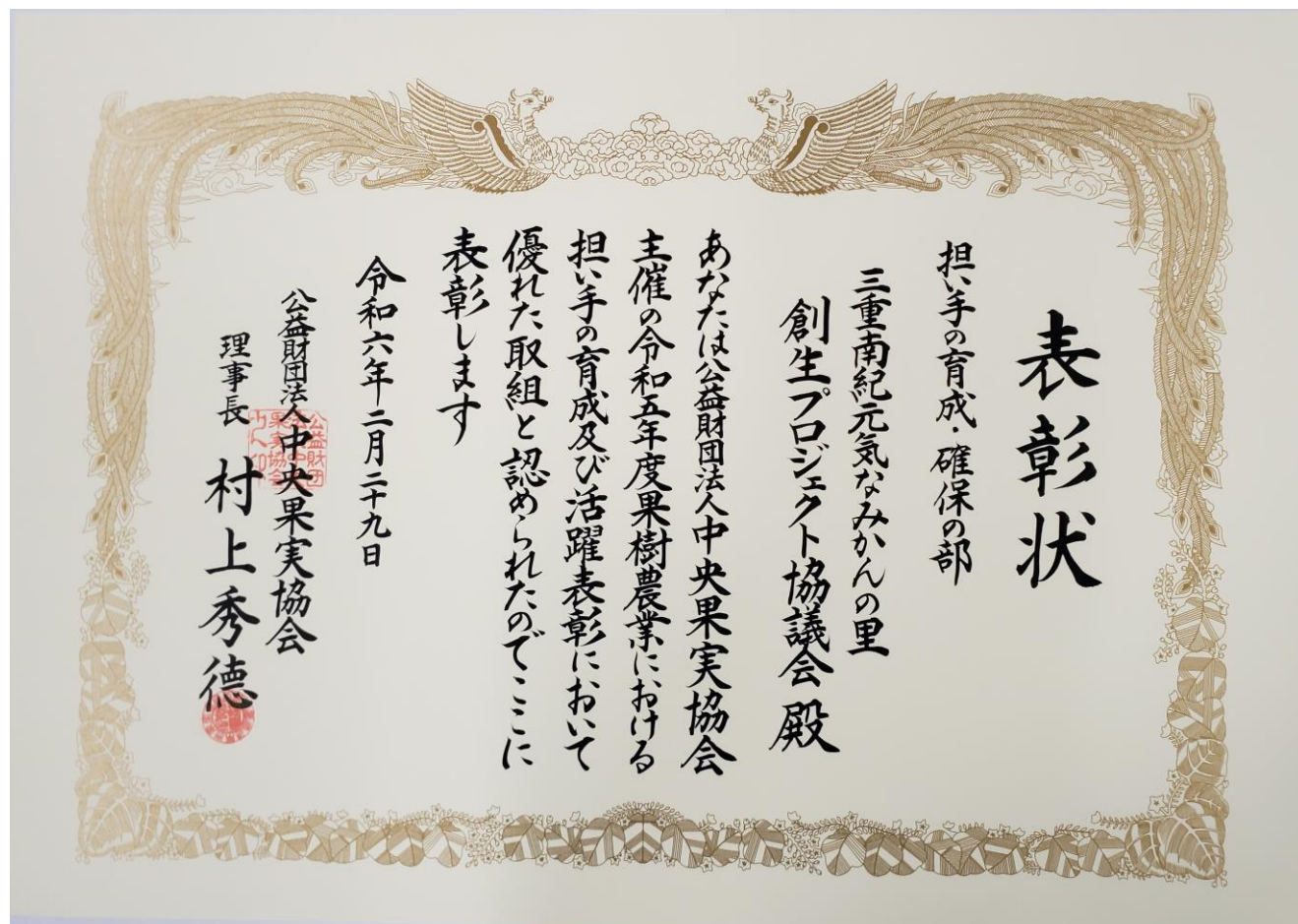
- ◆平成31年に市・JAあいち豊田が桃・梨栽培農家の協力を得て「桃・梨専門コース」を創設。
- ◆里親農家のほ場での実践的研修や、市が借り受けた園地（自己管理ほ場）における栽培・経営管理の指導を受けつつ独立営農に向け準備。
- ◆自己管理ほ場の利用権の切り替え等による園地継承。
- ◆各種制度資金の提供、農機具の貸し出し、農業経営アドバイザーによる伴走支援等きめ細かな支援措置と広い面積の園地継承を実施。

豊田市農ライフ創生センター



第1部 担い手の育成確保の部

三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会



◆国営事業による園地整備によりみかん生産は地域の基幹産業

◆JA、三重熊野地域の3市町と県事務所が協議会を構成。平成20年から新規就農育成に取り組む

第1部 担い手の育成確保の部

三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会

- ◆新規就農希望者等に、「みかん、やったらええやん」のメッセージとともに、地域の魅力、柑橘農家の姿や一人でできる経営モデルなどを令和3年から発信。
- ◆応募者増に対応して、JA出資法人トレーニングファームと柑橘生産者園地で新規就農者研修を実施。
- ◆園地幹旋は、法人園地の一部の利用権の切り替えや、研修指導生産者による紹介などで対応。
- ◆みかん生産8割を占める御浜町では、プロモーションサイトによる対外発信力と大幅に増加した新規参入者への研修・支援体制を強化。

第1部 担い手の育成確保の部

三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会

御浜町とは



紀伊半島、本州ほぼ最南端の太平洋沿いの町、三重県御浜町。
海岸沿いには、約25kmに渡る七里御浜や、祈りの路、世界遺産「熊野古道伊勢路」。海の巡礼道・浜街道、山の巡礼道・風伝峠、横垣峠の三つの熊野古道など、人々の祈りの歴史の足跡があります。
温暖多雨な気候と、みかん栽培に適した水はけの良い土壌が、一年を通して、様々な種類のおいしいみかんを育み、「年中みかんのとれるまち」として親しまれています。その気候と丸いみかんのおかげか、人も穏やかで温かい町です。

御浜町タウンプロモーションサイト

熊野の海の「青」と山の「青」が出会う町



<https://www.mihama-mie-townpromotion.jp/>

御浜町 YouTubeチャンネル「三重県御浜町 - Mihama Town」

みかん農家のインタビュー動画を始め、
御浜町の魅力が詰まった映像を紹介しています。



https://www.youtube.com/channel/UCrXlIn_bVwma-k0UBUI_7MQ

御浜町プロモーションサイト「青を編む」



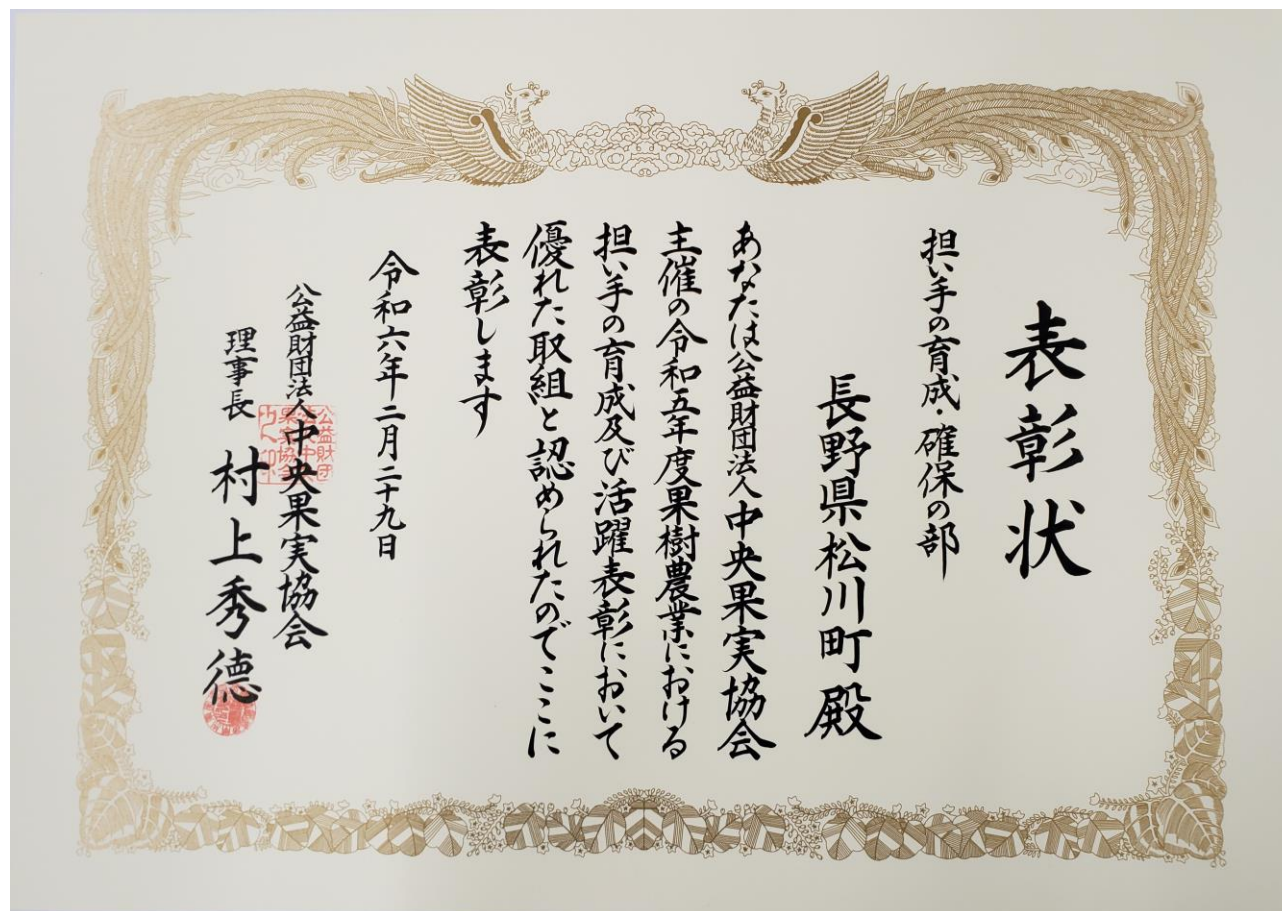
国営事業で整備した園地



新規就農者研修

第1部 担い手の育成確保の部

長野県松川町



- 長野県南部の松川町はくだものの里として、リンゴ、ナシ、モモ、サクランボ、プルーン、スモモ等を生産
- 名古屋圏から高速道路利用で果実直売所での販売

第1部 担い手の育成確保の部

長野県松川町

- ◆地域おこし協力隊制度を活用して、令和2年1月から果樹に特化した研修を開始。
- ◆3年間の研修(1年目法人、2年目指導農家、3年目には自ら借り受けたほ場での栽培管理)。
- ◆研修生への充実した報酬、就農準備金の積み立て、研修住宅等の提供等。
- ◆町の営農支援センターが中心に、研修受入農家、JA、農業委員等が協力して研修生に園地を斡旋。

第1部 担い手の育成確保の部

長野県松川町



【1年目】

- ・りんごを中心とした基礎研修・・・なかひら農場
剪定から収穫までの一連作業、防除、草刈り
選果、販売 など

- ・技能講習、資格取得

農業大学校・・・スピードスプレー、乗用草刈り機

小型トラクター、刈払機操作研修

大型特殊(農耕者に限る)技能講習、資格取得

中部労働技能講習センター・・・フォークリフト、バックホー技能講習、資格取得

【2年目】

- ・希望品目による専門研修・・・指定農家マッチング
- ・自圃場確保の場合、指定農家指導のもと実践研修
- ・JA等の指導会参加



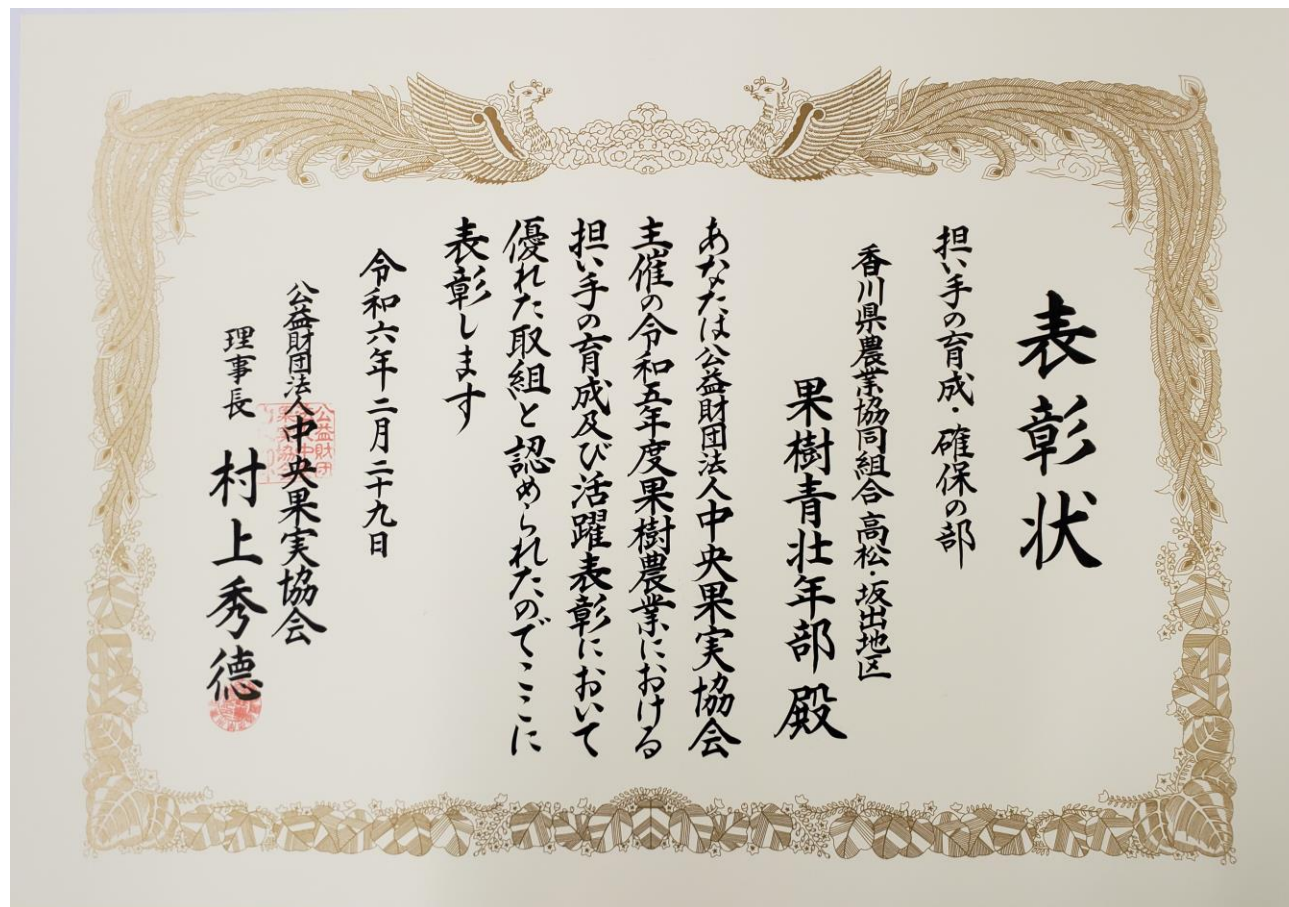
【3年目】

- ・自圃場での実践研修
(管理作業～販売、経営計画策定)



第1部 担い手の育成確保の部

香川県農業協同組合高松・坂出地区果樹 青壮年部



- 瀬戸内海に面する北西部の傾斜地を利用した柑橘栽培が盛ん
- 温州みかんの長期貯蔵技術の発祥地
取組みや温室栽培の地
- 同地で発見された果皮の紅が濃い「小原紅早生」が普及

第1部 担い手の育成確保の部

香川県農業協同組合高松・坂出地区果樹 青壮年部

- ◆平成26年に高松・坂出地区の若手生産者17名が青壮年部を設立。新規就農研修生を積極的に指導したことにより定着が進み会員数が14名増加。
- ◆耕作放棄見込みの園地で温州みかんモデル園を整備。先輩会員による新規就農希望者や経験の浅い会員への技術講習や、ドローン防除の実演会等に活用。
- ◆結果樹になったモデル園を若手会員に継承。新たにモデル園を整備し研修ほ場として活用し、成園後に若手会員に継承予定。

第1部 担い手の育成確保の部

香川県農業協同組合高松・坂出地区果樹 青壮年部



平成28年度に整備したモデル園



定植後に結果樹園となったモデル園

モデル園での収穫
作業の实地研修



第2部 活躍する担い手の部

① 審査結果の報告（講評）

- 活躍する担い手の部 3生産者（農産局長賞1点、中央果実協会賞2点）選出
- 幅広い多様な経歴の応募者
 - 農業外から新規参入して果樹経営している者
 - 代々続く果樹農家を継承し法人経営を発展させた者
- 省力樹形、スマート農業技術の導入、6次産業化、販路の多様化、食育などに積極的に挑戦
- 新規就農して果樹農業の可能性に挑戦している取り組みもいろいろな場面で積極的に紹介すべき

第2部 活躍する担い手の部

② 受賞者の紹介

- 農林水産省農産局長賞

株式会社福士農園 代表取締役 福士 寛和 氏

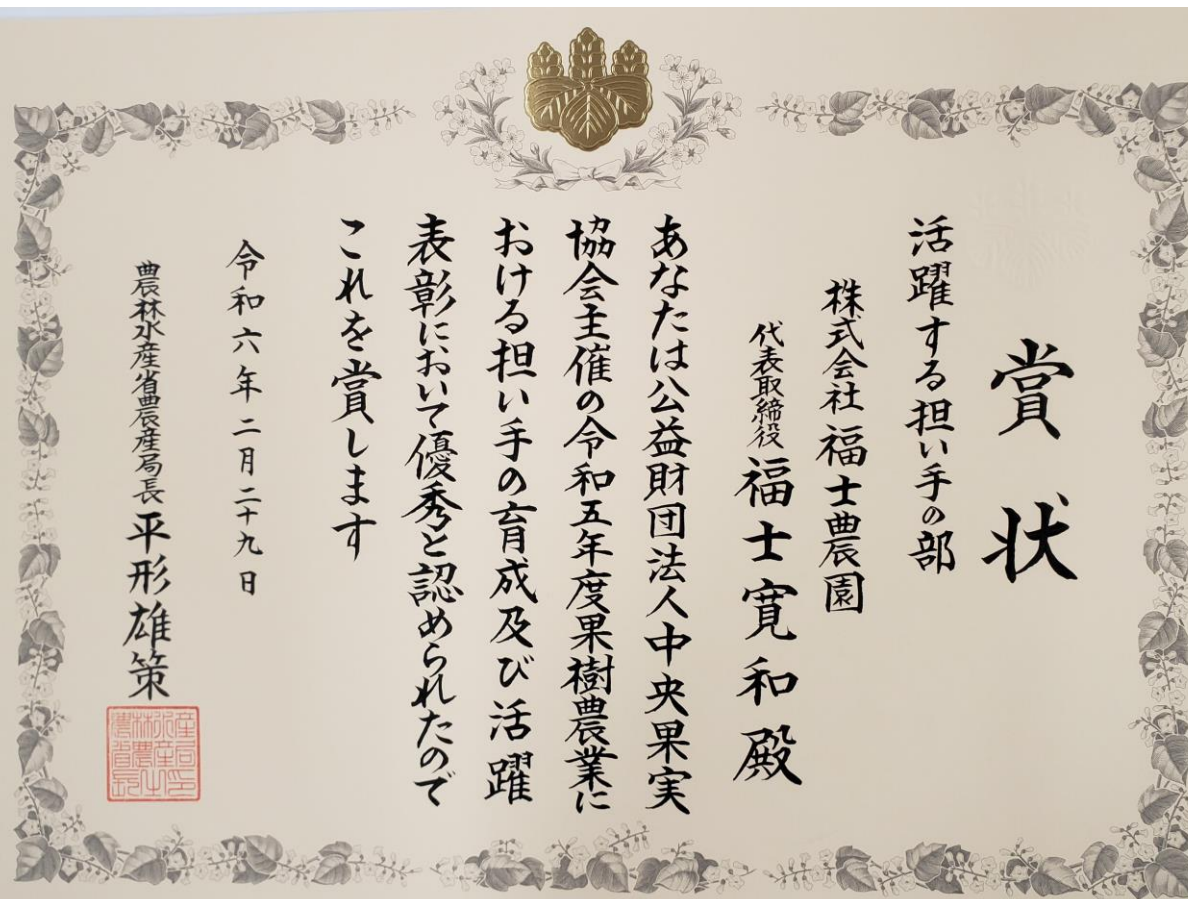
- 中央果実協会理事長賞

米本 真之 氏

岡本 和也 氏

第2部 活躍する担い手の部

株式会社福士農園 代表取締役 福士 寛和 氏



- 青森市浪岡地区において代々90年以上続くりんご農家
- 令和2年4月に法人化し、りんごの生産・加工・販売を行う
- 経営面積約10ha、常用雇用

第2部 活躍する担い手の部

株式会社福士農園 代表取締役 **福士 寛和 氏**

- ◆りんごの超高密植栽培やドローン等の導入により、経営面積を約10haまで拡大させ、環境にやさしい農業などのSDGs経営を実践。
- ◆自ら販路を開拓し、大手百貨店や高級フルーツ店、著名人などへ生果や自社加工品を直接販売、ふるさと納税返礼品に取り組み、販路を多様化。
- ◆地域の保育園の収穫体験受入や警察へのりんご寄付など地域活動、地域外の小学生へ食育授業を行うほか、取引先の援農ボランティアの受入れ。

第2部 活躍する担い手の部

株式会社福士農園 代表取締役 福士 寛和 氏



りんご園地（超高密植栽培等）の状況



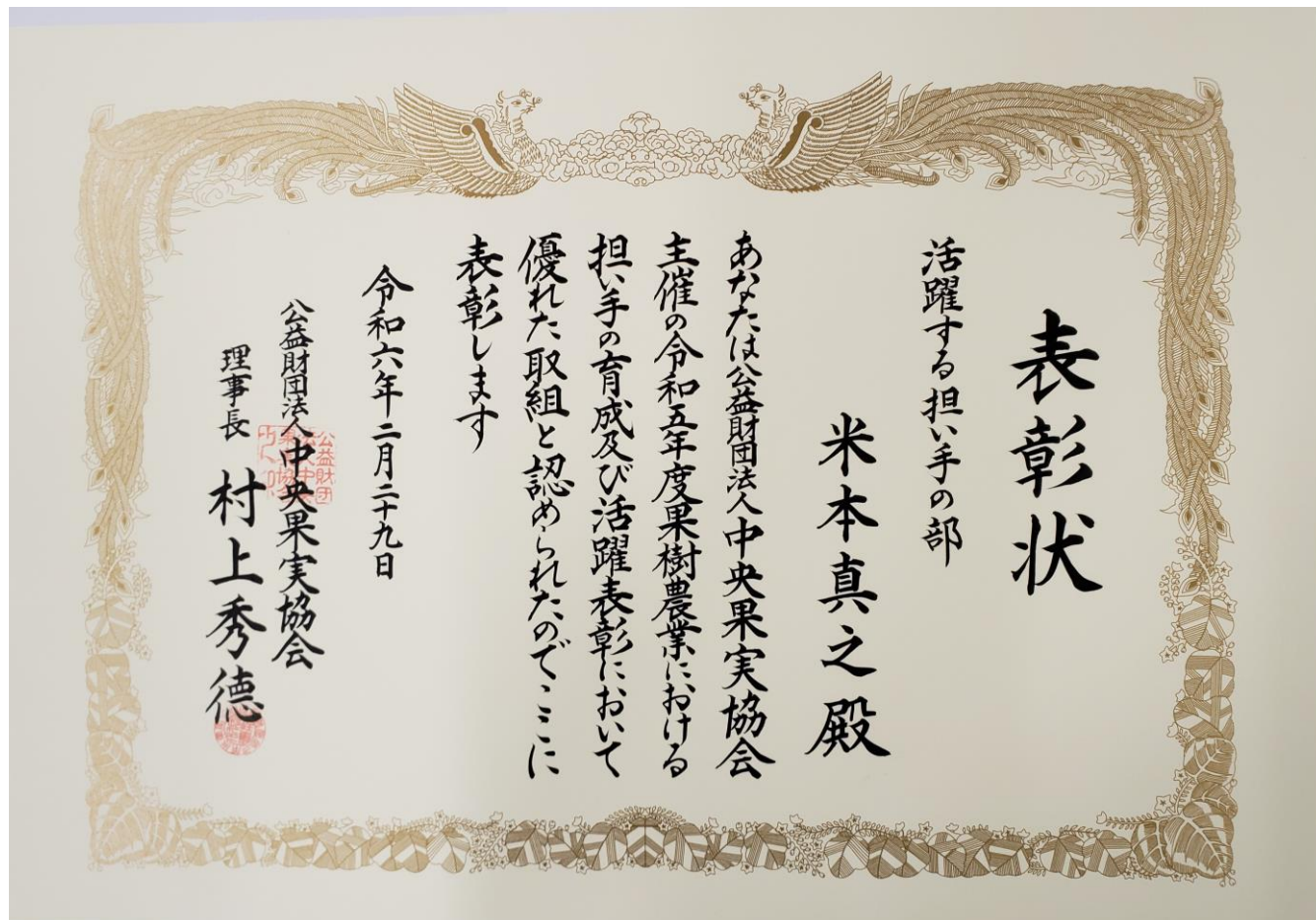
ドローンによる作業



小学校での食育授業

第2部 活躍する担い手の部

米本 真之 氏



- 長野県伊那市で農業外から就農して8年目の若手りんご生産者
- 全園地で高密度植栽培を導入し経営面積を拡大(約2ha)

第2部 活躍する担い手の部

米本 真之 氏

- ◆長野県の里親研修を利用し農業外から就農。栽培困難園を借り受け栽培を開始。同時に園地の集積・集約を行い、順次、超高密植栽培を導入。
- ◆就農時に借り受けていた園地を他生産者へ引き継ぎ、令和4年から集約園地で高密植栽培のみの経営を開始。異常気象の影響はあるが単収は順調に伸び、令和4年度は平均単収約8トン/10aを実現。
- ◆新規就農研修経験者の多くが参加する会のメンバーとして、苗木不足に対応できるよう高密植に必要な台木を生産。

第2部 活躍する担い手の部

米本 真之 氏



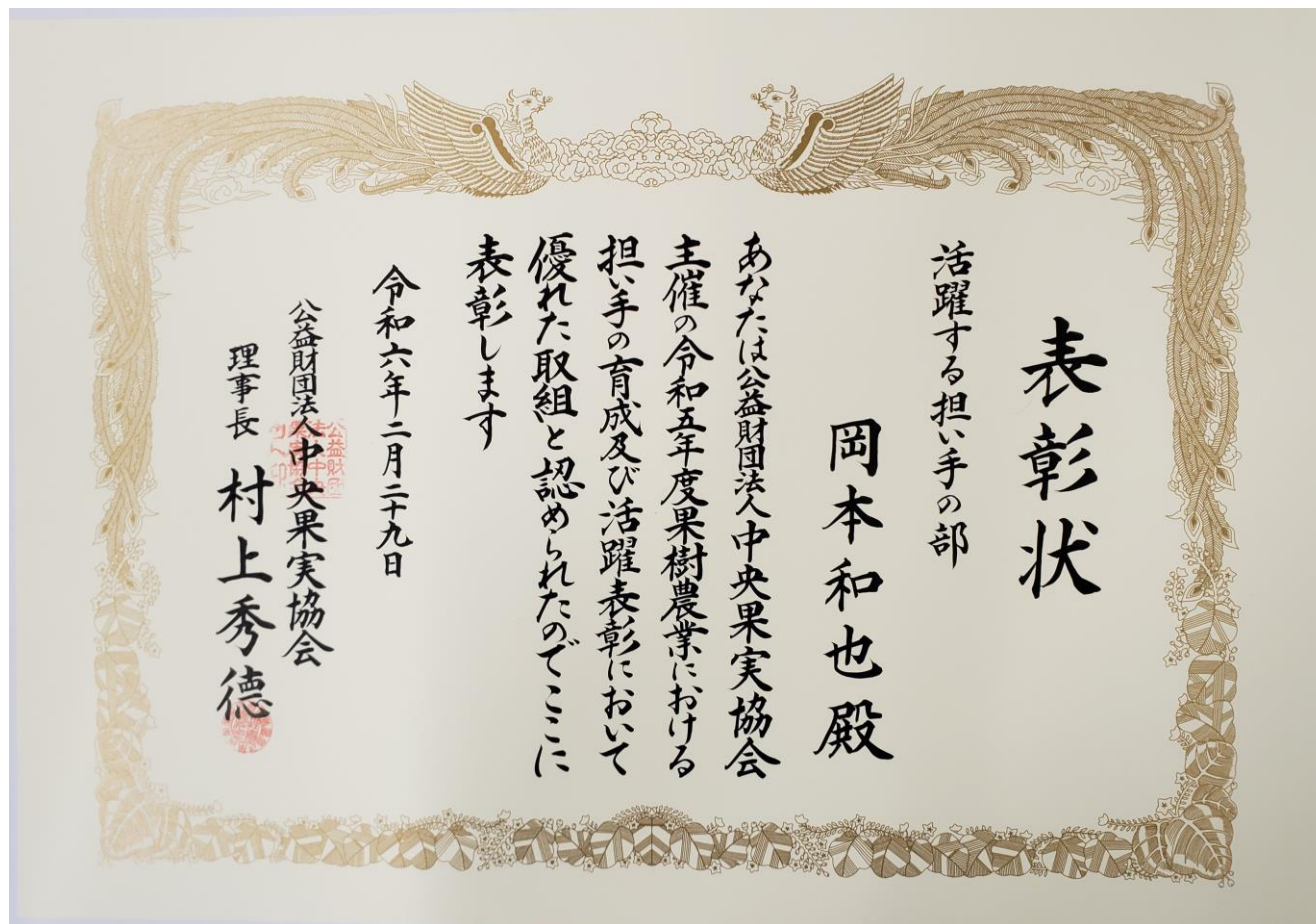
高密植栽培の園地



10トン/10a
の収穫がで
きたりんご園
(シナノゴー
ルド)

第2部 活躍する担い手の部

岡本 和也 氏



- 大分県杵築市
で農業外から
就農して4年目
の若手ハウス
みかん生産者
- 家族との共同
経営により経営
面積を拡大し収
益を伸ばす

第2部 活躍する担い手の部

岡本 和也 氏

- ◆杵築市のファーマーズスクールで研修し農業外から就農。経営継承により令和2年11月にハウス(3棟32.5a)を取得し、新規営農を開始。
- ◆順次ハウスの継承を行い経営面積を拡大。ハウスみかんの単収4.4～5.3トン、粗収益約2千万円と、若手生産者の模範となる経営を実現。
- ◆ハウスみかん担い手発掘活動の中心メンバーとして、市内子ども食堂の児童への試食会や収穫体験の計画、PR用オリジナル包装資材の制作にも取り組む。

第2部 活躍する担い手の部

岡本 和也 氏



経営移譲を受けたハウス



「ハウスみかん担い手発掘プロジェクト」メンバーと段ボールイラスト(案)ファーマーズスクール1・2期生(右から2人目:和也氏)

杵築市ハウスみかんの若き担い手 岡本兄弟(右:和也氏)